

# 川にまつわる話

17

板橋 春夫

## 弓矢で占う水の豊かさ

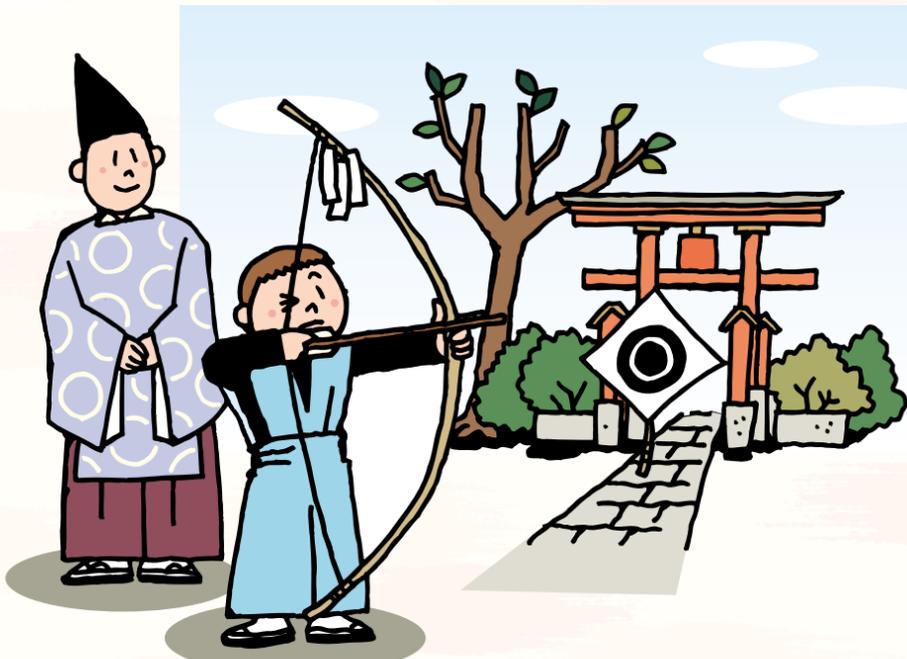
正月、矢を射る行事が県内数カ所の神社で行われます。この矢を射る行事は、稲の収穫を占うもので、富岡市の眞前神社で1月3日に行う「水的の神事」がよく知られています。

神主が的をめがけて矢を射て、矢が的の真ん中にたくさん当たると、その年は農業用の水が豊富、逆に的からはずれるとその年は水不足になるといわれています。矢の当たり具合によって、水に困らず稲がたくさん収穫できることを占うもので、人々はこの神事の結果に注目しました。

前橋市の総社神社でも1月6日に同様の神事があり、渋川市半田の早尾神社では、1月7日に「オマト(御的)」の行事

があります。半田では、小学校に入学した男子2人が2矢ずつ射って、的に当たればその年は豊作になるといわれました。板倉町岩田の長良神社では、1月10日に近い日曜日に弓取り式が行われます。この弓取り式は比較的古風な行事です。詳しく紹介してみます。

弓取り式は、的(的)と呼ばれる、的の当たり具合によって稲のでき具合を占いました。直径約60センチの大きな黒い丸



このように弓を射るのは、人々の健康や稲作に必要な水の恵みをもたらすための祈りが込められているのです。

が書かれ、そのまわりに赤、青、黄色の色紙が飾られます。岩田は7地区に分かれ、その地区が順番に大世話人を務めます。

弓取り式に参加する子どもは、かつては岩田地区に住む10歳前後の長男と限定されていました。現在は地区内の男子であれば参加自由です。弓はウツギ、矢は篠竹を材料とし、参加する子どもたちに矢が3本ずつ渡されます。

まず、大世話人が天空に向かって「テンビヨウブレ、マンビヨウブレ」と唱えながら矢を射ますが、その意味は不明です。昔は矢が倒れた方向によって、その年の稲のでき具合を占いました。

その後、子どもたちが的に向かって矢を射ます。射った矢が中央の黒点に当たると縁起が良いといわれ、参加者は的に飾られた色紙を奪い合ったものです。この色紙を着物の襟元に縫い込んでおくと、風邪をひかないとか病気になるまいとい

いました。

参考文献/参考文献/板橋春夫ほか「祭礼行事 群馬県おまつり」1996年、県立歴史博物館編「射る！ 矢の文化史」県立歴史博物館、2006年

板橋春夫(いたはし・はるお) 1954年生まれ。群馬歴史民俗研究会代表。著書「葬式と赤飯」(煥平堂、1996年)、「平成くらし」(蔵時記)岩田書院、2004年)、「民俗学講義」共著、八千代出版、2006年(など)がある。

# ダム統管のしくみ

## 雨や川の水量を観測したり ダム資料館の運営をする

利根川ダム統管事務所のしくみを紹介しているこのコーナー。今回は、この川の子ども新聞「とのかわりも深い」調査課のしくみを取り上げるよ。

ダムには、川の水が多いときにはためておき、少ないときは放流して、水の量を調整するという役割があったよね。ダムの水を放流する前にはしなければならぬことがあるんだよ。川の水量や雨の状況、ダムのようす、天気予報などさまざまな情報を集めること。それが調査課の大事な役割なんだ。

その情報をもとに、3日先までの川の水量



川の水量を観測しているところ

また、調査課では、いろいろな観測機器の点検や修理、それに「利根川ダム資料館」の運営などもしているんだよ。関越自動車道前橋インターチェンジの近くに、利根川やダムについて楽しく学べる「利根川ダム資料館」があるのはみんな知っているよね。そのダム資料館の運営や、もっと多くの人に川やダムのことを知ってもらおうための活動もしている。



クイズやゲームをしながら川やダムのことが学べる

を決めて指示を出すことができる。みんなが水の心配なく過ごせるのは、調査課の正確なしくみのおかげだったんだね。

水が足りないということになると、どのダムからどれくらい放流するかを予測する。その結果、

# ポトムのQ&A

どうしても知りたいこと、あるんだけど...教えてポトムくん!

## AQ

### 利根川には、サケがどのくらい帰って来てるの？

利根川は、サケがのぼってくる川では日本で一番南の川と言われている。昔は秋になると利根川でサケの姿がたくさん見られたけれど、残念なことには1960年ころから減り始めて70年ころまでには、とうとう姿を消してしまっただ。これではいけないと思った人たちが、81年にサケの稚魚の放流を始めた。今ではたくさん市民や小学生たちが、利根川のおちこちで多くの稚魚を放流しているかいもあって、再び利根川にサケが戻ってくるようになった。

千代田町にある「利根大堰」では、1983年から毎年、そのサケの数を数えている。それによると、調査を開始した23年前は、21匹だったのが、去年10月のぼってきたのは2283匹。今年12月12日現在で3119匹と、すでに昨年を上回る数に！ 利根川導水総合管理所のホームページでも、サケたちが川をのぼる姿が見られるからぜひ、見てね。

アドレスは、<http://www.water.go.jp/kanto/one/live/livecam.html>